第 101 回千葉関節外科研究会開催のお知らせ

拝啓

時下ますますご清祥の段 お慶び申し上げます。

さて、第 101 回千葉関節外科研究会を下記の要領にて開催することとなりましたのでご案内申し上げます。御多忙中とは存じますが万障お繰り合わせの上ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

謹白



記

◎日　　時：2027 年 2 月 25 日（木）18:45～20:30

◎場　　所：オークラ千葉ホテル 2F「ブリストル」※現地開催のみ

〒260-0024 千葉市中央区中央港 1-13-3　TEL:043-248-1111

◎参加方法：事前申込制　詳細は裏面に記載

18:45～19:00　情報提供「 関節機能改善剤　アルツ関節注 25mg 」科研製薬株式会社

Ⅰ　19:00　ショートレクチャー

座長 独立行政法人　国立病院機構　千葉医療センター 整形外科
医長 阿部 功 先生

「 大腿骨近位部骨折治療の地域連携における千葉市の現状 」

独立行政法人　国立病院機構　千葉医療センター 整形外科
鶴見 要介 先生

Ⅱ　19:30　特別講演

座長 千葉大学大学院医学研究院 整形外科学 教授 大鳥 精司 先生

「 寛骨臼回転骨切り術（RAO）から低侵襲寛骨臼骨切り術（SPO）へ
― 合併症低減への取り組み ― 」

金沢医科大学　整形外科学講座主任　教授　兼氏 歩　先生

＊　参加者の先生方にはお弁当をご用意しております。
＊　参　加　費　1,000 円
＊　単位取得費　1,000 円
日整会専門資格継続単位取得できます。
必須分野　［11］：骨盤・股関節疾患
＊　単位受付の際には日本整形外科学会 JOINT による 2 次元バーコードのご準備が必要です。

当番幹事　独立行政法人　国立病院機構　千葉医療センター
事 務 局　〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1
千葉大学大学院医学研究院　整形外科学　松浦　佑介
TEL 043-226-2117　FAX 043-226-2116

共催 千葉県整形外科医会・千葉関節外科研究会・科研製薬株式会社

GLOBAL ALLIANCE FOR MUSCULOSKELETAL HEALTH
「運動器の健康」世界運動
動く喜び 動ける幸せ

【事前登録方法】

下記URLより申込フォームの必要事項をご入力ください。
二次元コードからもアクセス頂けます。

URL：https://forms.cloud.microsoft/r/HjUn9KAwDR



弊社では、ご入力いただいた個人情報は、「科研製薬の個人情報保護に関する取組み
https://www.kaken.co.jp/privacy/index.html」に従い、取り扱います

関節機能改善剤 処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）
日本薬局方　精製ヒアルロン酸ナトリウム注射液

アルツディスポ®関節注25mg

ARTZ Dispo® 25mg intra-articular injection

日本標準商品分類番号	873999
	アルツディスポ関節注25mg
承認番号	21800AMX10774000
薬価収載	2006年12月
販売開始	1993年2月

貯法：室温保存
有効期間：3年6カ月

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）
本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

4. 効能又は効果
○変形性膝関節症、肩関節周囲炎
○関節リウマチにおける膝関節痛（下記（1）～（4）の基準を全て満たす場合に限る）
（1）抗リウマチ薬等による治療で全身の病勢がコントロールできていても膝関節痛のある場合
（2）全身の炎症症状がCRP値として10mg/dL以下の場合
（3）膝関節の症状が軽症から中等症の場合
（4）膝関節のLarsen X線分類がGradeIからGradeⅢの場合

5. 効能又は効果に関連する注意
〈関節リウマチにおける膝関節痛〉
5.1 膝関節以外の使用経験はなく、他の関節については有効性・安全性が確立していないため本剤を投与しないこと。
5.2 関節リウマチでは膝関節の器質的変化が高度なものは有効性・安全性が確立していないため本剤を投与しないこと。

6. 用法及び用量
〈変形性膝関節症、肩関節周囲炎〉
通常、成人1回1シリンジ（精製ヒアルロン酸ナトリウムとして1回25mg）を1週間ごとに連続5回膝関節腔内又は肩関節（肩関節腔、肩峰下滑液包又は上腕二頭筋長頭腱腱鞘）内に投与するが、症状により投与回数を適宜増減する。
〈関節リウマチにおける膝関節痛〉
通常、成人1回2.5mL（1シリンジ、精製ヒアルロン酸ナトリウムとして1回25mg）を1週間毎に連続5回膝関節腔内に投与する。
本剤は関節内に投与するので、厳重な無菌的操作のもとに行うこと。

7. 用法及び用量に関連する注意
〈効能共通〉
7.1 症状の改善が認められない場合は、5回を限度として投与を中止すること。
〈関節リウマチにおける膝関節痛〉
7.2 本剤による治療は原因療法ではなく局所に対する対症療法であるので抗リウマチ薬等と併用すること。本剤は漫然と連用する薬剤ではない。

8. 重要な基本的注意
〈効能共通〉
8.1 本剤の投与により、ときに局所痛があらわれることがあるので、投与後の局所安静を指示するなどの措置を講じること。
8.2 関節腔外に漏れると疼痛を起こすおそれがあるので、関節腔内に確実に投与すること。
〈変形性膝関節症、関節リウマチにおける膝関節痛〉
8.3 投与関節の炎症又は関節液貯留が著しい場合は、本剤の投与により局所炎症症状の悪化を招くことがあるので、炎症症状を抑えてから本剤を投与することが望ましい。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意
9.1 合併症・既往歴等のある患者
9.1.1 他の薬剤に対して過敏症の既往歴のある患者
9.1.2 投与関節部に皮膚疾患又は感染のある患者
本剤は関節内に投与するため。

11. 副作用
次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
11.1 重大な副作用
11.1.1 ショック（頻度不明）
ショック症状があらわれることがある。

11.2 その他の副作用

	0.1～5%未満	頻度不明
過敏症		蕁麻疹等の発疹、そう痒感、浮腫（顔面、眼瞼等）、顔面発赤
投与関節	疼痛（主に投与後の一過性の疼痛）、熱感、局所の重苦しさ	腫脹、水腫、発赤、関節周囲のしびれ感
肝臓		AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、LDH上昇
血液		好酸球増多、ヘマトクリット低下、白血球増多
その他		嘔気・嘔吐、発熱、倦怠感、蛋白尿、尿沈渣異常、動悸、ほてり、総蛋白低下、BUN上昇

24. 文献請求先及び問い合わせ先
科研製薬株式会社　医薬品情報サービス室
〒113-8650　東京都文京区本駒込二丁目28番8号
フリーダイヤル　0120-519-874

26. 製造販売業者等
26.1 製造販売元
生化学工業株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目6-1
26.2 発売元
KAKEN 科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込二丁目28番8号

●詳細は電子化された添付文書をご参照ください。「禁忌を含む使用上の注意」の改訂に十分ご留意ください。

2022年10月改訂（第1版）

【お問合せ】科研製薬株式会社　担当：西尾
TEL：080-6858-3981　　E-mail ： nishio_satoshi@kaken.co.jp